議会の見える化、はじめてます！

有田町議会だより



◇議会の一年間の流れ　P2～
◇議会基本条例の制定に向けて　P4
◇議会議案の審議結果　P5
◇ピックアップ　P6
◇町政を徹底追及　一般質問　P7～
◇常任委員会報告　P14～
◇釧路町議会・有田町議会
　友好交流協定記念事業　P16
◇有田の「若者・よそ者・○○者」　P17
◇議会を傍聴して　P17
◇地域の魅力発見（９区編）　P18
◇あなたのご意見お聞かせください　P19
◇総区長会との意見交換会　P20

★表紙★
映画「スタンド・バイ・ミー」になぞらえ、若手議員が有田の新たな魅力を発見する旅へ
撮影場所：泉山磁石場

令和８年10月31日発行　No.77



1月
- 全員協議会
- 広報委員会



2月
- 新年度予算説明会
- 全員協議会
- 議会運営委員会

町議会の
動の流れ

―を支えるために ―

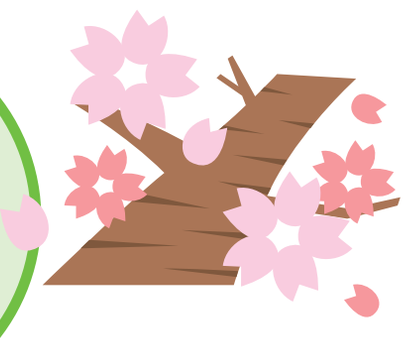
や委員会、調査・研究、
交換などを通して
や未来づくりに
しています。



3月
- 定例議会（予算・議案審議）
- 委員会審査
- 全員協議会
- 広報委員会



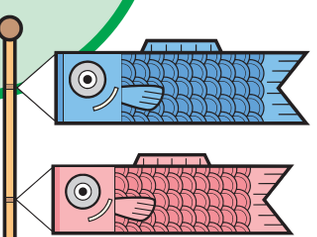
4月
- 全員協議会
- 広報委員会



5月
- 全員協議会
- 議会運営委員会



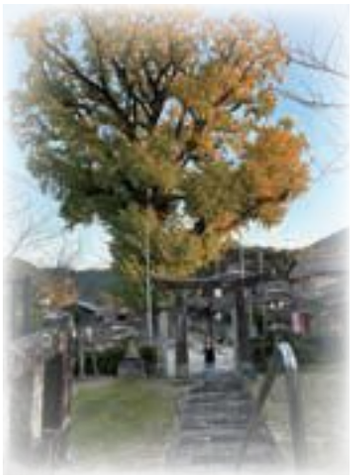
6月
- 定例議会
  （補正予算・議案審議）
- 委員会審査
  - 全員協議会
  - 広報委員会







よりの発行（年４回）
体との意見交換会



有田町
一年間
― 町民の暮らしを

議会は、定例議会や委
町民との意見交換
町の課題解決や
取り組んで



12月
- 定例議会
  （補正予算・議案審議）
- 委員会審査
  - 全員協議会
  - 広報委員会

11月
- 全員協議会
- 議会運営委員会

10月
- 委員会行政視察
- 全員協議会
- 広報委員会

9月
- 定例議会
  （決算・議案審議）
- 委員会審査
  - 全員協議会
  - 広報委員会

8月
- 決算説明会
- 全員協議会
- 議会運営委員会

7月
- 全員協議会
- 広報委員会



通年の活動

- 議会だよ
- 各種団体

お知らせ

議会基本条例の制定に向けて

「町民に開かれ、信頼される議会」を目指して



有田町議会では、より町民に身近で、信頼される議会を目指し、**「議会基本条例」**の制定に向けた取り組みを進めている。

議会基本条例とは、議会や議員が町民の声を町政に反映し、責任を持って活動するための基本的なルールや考え方を定めるものである。

現在、全員協議会を開催し、次のようなテーマで、議論を深めている。

町民の声を、議会活動として、どう活かすか
- 議会報告会、意見交換会の実施

情報をどのように届けるのか
- 議会広報誌の刷新
- 議会の見える化
- 二次元コード活用

議論をどう深めるか
- 月１回の全員協議会の開催
- 勉強会の開催

行政との関係をどう築くか
どのような関係であるべきか
- 反問権の検討

基本条例は「つくること」だけが目的ではない

◆町民に、議会の活動を知ってもらうこと

◆町民の声を議会活動につなげること

◆よりよい有田町を目指し、議員同士が十分に議論すること

これらを大切にしながら、有田町議会らしい「議会基本条例」の制定を目指すものである

今後の進め方（予定）

①課題の整理・情報収集

②条例の骨子案の検討
- 全員協議会でさらに議論を深める

③条例案の取りまとめ

④議会での審議・制定
- 制定後も継続的に検証し、必要に応じて見直す

令和８年９月 議会議案の審議結果

（一部抜粋）



議案番号	提　　出　　議　　案	審議の結果
議案第49号	有田町企業等立地の促進に関する条例について 立地企業に対する奨励措置は、これまで佐賀県企業立地の促進に関する条例の規定による指定を受けた者を対象にしてきたところ、同条例の廃止及び近年の企業誘致対策事業の状況に鑑み、奨励措置を全面的に見直すためには、現行条例を廃止するとともに、新たに条例の制定が必要である。	賛成全員
議案第50号	有田町認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について 地方自治法施行規則の一部改正において、施行規則の条項番号等を改める改正が行われることから、当該条項番号等を引用している町条例の規定について、一部を改正する必要がある。	賛成全員
議案第51号	有田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について 人事院規則の改正に伴い、被害者参加人としての裁判対応の負担、犯罪被害者等支援の重要性及び被害者参加制度の公益性に鑑み、町職員が被害者参加人として裁判所等への出頭が必要な際にも特別休暇を取得できることとするためには、現行条例の一部を改正する必要がある。	賛成全員
議案第52号	有田町税条例の一部を改正する条例について 地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律、関係する政令及び省令が公布されたことから、現行条例の一部を改正する必要がある。	賛成全員
議案第54号	令和８年度有田町定住促進住宅1号棟A側階段室（１０室）改修工事請負契約の締結について 令和８年度有田町定住促進住宅1号棟A側階段室（１０室）改修工事について、落札者が決定したことに伴い、建設工事請負契約を締結する。 ※契約金額９１９６万円	賛成全員
議案第55号	令和８年度中樽町営住宅（１・２号棟）解体工事請負契約の締結について 令和８年度中樽町営住宅（１・２号棟）解体工事について、落札者が決定したことに伴い、建設工事請負契約を締結する。 ※契約金額1億８５７万円	賛成全員
議案第56号	令和８年度有田町一般会計補正予算（第３号）について 歳入歳出予算の総額にそれぞれ５億５３８７万円を増額し、 １４３億１２４１万円とする。	賛成全員

令和７年度決算ピックアップ

奨学金制度、定住につながる仕組みへ

有田町には４つの奨学金制度があるが、令和７年度の新規申請者は２人にとどまり、利用者の低迷が続いている。委員会では、若者の地元定住や就職につながる制度への見直しについて議論された。

令和７年度の利用状況		
制　度　名	新規申請者	継続を含む利用者
竹内昌三育英資金	０人	４人
有田ふるさと奨学金	０人	４人
江　副　奨　学　金	１人	１人
有田ロータリークラブ福島奨学金	１人	４人
合　　計	２人	１３人

奨学金基金の状況（令和７年度末）		
制　度　名	基金残高	運 用 額
竹内昌三育英資金	約7,443万円	約3,000万円
有田ふるさと奨学金	約7,793万円	約1,913万円
江　副　奨　学　金	約1,294万円	約　780万円
有田ロータリークラブ福島奨学金	約1,395万円	約　803万円
合　　計	約1億7,925万円	約6,495万円

委員会で出された意見

- 新規利用の低迷を踏まえ、卒業後に有田町へ定住・就職した場合の返還免除など、より活用してもらえる制度に見直すべき。
- 若者の定住促進や人口減少対策にも繋がる仕組みが必要。
- 関係各課と連携し、令和８年度中を目途に制度の方向性を検討する。

奨学金 × 若者定住

町の未来を担う若者を応援し
ふるさと有田での暮らしを
選んでもらえる町へ

令和8年度補正予算ピックアップ

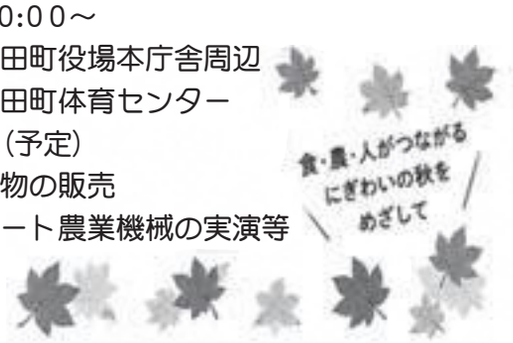
新規

「食と農業まつり」の思いを新しい秋祭りへ

コロナ禍で終了した「食と農業まつり」の復活を望む声を受け、新たに「秋祭り事業」200 万円が計上された。農産物販売やスマート農業機械の実演、新規就農相談、チェーンソーアートをはじめとした木工体験教室など、農業の魅力を発信するイベントを予定している。まずは農業関係者を主体としてスタートし、将来的には実行委員会形式での開催を目指す。



日時：令和８年11月15日（日）
　　10:00～
場所：有田町役場本庁舎周辺
　　有田町体育センター
主な内容（予定）
- 農産物の販売
- スマート農業機械の実演等





中島（なかしま） 達郎（たつろう） 議員

情報発信力の高い町との連携は

答 連携には見極める必要がある

都市圏での情報発信

議員　町長は、公約の「世代を超えて未来に誇れる町へ」の要点の中で、都市圏での情報発信も提唱している。

令和元年、総務常任委員会の研修で訪れた神奈川県葉山町。現在も町長の山梨氏は、有田焼に愛着もあり、大学も鷲尾町長と同窓である。またこの町は、インターネットで発信できるインスタグラムの閲覧数もかなり多い。そこでこの都市圏、首都圏にある葉山町とパートナー都市協定（文化や観光等特定の分野で連携）を結んではどうか。

町長　御用邸のある町であり、高い情報発信力を持つ葉山町との連携は魅力的である反面、なぜ葉山なのか、双方の住民や地域の活性化等にどの様な影響があるのか、見極める必要もある。上京する際に何らかの形で訪れ、意見交換する機会があれば、先ずはその辺から始めてみたい。



▲葉山歩き（出典 葉山町）

子どもの見守り

議員　登下校中の児童に黄色い帽子の着用を。

教育長　低学年については、着用するように指導しているが、無着用児童への強い指導は行っていない。ただ、陶器市を見学する子どもたちの様子では、1・2年生は全員がかぶっていた。今後も交通安全対策として、帽子の着用を推奨していきたい。

◇その他の質問
・空き家改修支援
・町有施設等へのネーミングライツ
・ガバメントハンター



大井手（おおいで） 秀樹（ひでき） 議員

防犯カメラと防災士による地域の安心・安全は

答 地域防犯・防災力の向上に努める

防犯カメラによる地域防災力の強化

議員　本町が管理する公共施設に設置している防犯カメラの台数は。

総務課長　町有施設に38台設置している。小中学校・保育園・通学路などへ取り付けている。

議員　設置カメラの運用・管理状況は。

総務課長　学校や保育園などの施設内は、職員室のモニターで常時確認できる。また、通学路など屋外設置分は、録画し、必要に応じ確認している。

議員　屋外設置分は、風雨などで映像が不鮮明になる恐れがある。定期点検をお願いしたい。

議員　防犯上の危険箇所を把握・検証し、設置場所の選定へ、どう反映させているか。

総務課長　見守り隊からの情報提供やMR駅駐輪場におけるいたずらなどの多発箇所へ設置したケースがある。

議員　各区へ積極的に推進していく考えは。

総務課長　防犯カメラの補助金制度事業を総区長会で詳細説明し、町内の取り扱い事業者等を紹介している。

防災士を活用した地域防災力の強化

議員　町内在住の防災士数は何人か。また、各区への配置状況は。

総務課長　66人で、全区に在籍されている状況である。

議員　防災士の育成・資格取得について、補助金制度の創設、拡充の考えは。

総務課長　防災士試験に係る手数料を毎年予算化し、受講料および登録料を助成している。

議員　今後、本町の防犯カメラ設置および防災士の育成・推進は。

町長　防犯カメラについては補助制度を創設し、機器選定や制度活用の助言など、支援を行っていく。また、防災士については、育成・資格取得支援を進め、活動できる環境整備を図る。



▲町有施設に38台

議会だよりに掲載している議員の一般質問の文責は各議員にあります。



岩尾（いわお） 匡（ただし） 議員

水道料金改定の審議会協議内容は

答 値上げの必要性を理解いただいた

上下水道事業の改善策

議員 事業の経営改善に関する上下水道審議会の現況と見解は。

上下水道課長 下水道3事業に加入されている各団体の長と水道使用料負担が大きな事業者、日本下水道事業団の加藤教授を交え審議を行っている。

公営企業4事業とも経営が非常に厳しいことから、下水道3事業について、現料金から20％、水道事業について10％の値上げが必要と理解いただいた。

値上げの時期については、利用者の負担軽減を考慮し、下水道関係を令和9年度の4月徴収分から、水道事業を令和10年度の4月徴収分からとされた。この値上げに伴う一般的な家庭での月あたりの負担増額は、下水道関係で704円、水道関係で431円の予定である。

議員 値上げ案に向けて協議検討された内容は。

上下水道課長 下水道3事業の健全性が相互に異なるため、各事業個別の改定提案に対し、審議会では同一町内で差が生じることは不公平感が高いとして3事業統一の料金改定とされた。

値上げの方法として、今後の人口減少に対応できるよう基本料金に重点を置いた値上げの提案に対し、独居老人世帯など世帯人数が少ないところへの影響を勘案し、基本料金及び使用量に準じた従量料金のいずれも同率の値上げをすること、また水道料金においても下水道関係の審議同様の方式で10％値上げとされた。

議員 値上げは今後も繰り返されるか。

上下水道課長 一般会計を含む財政への負担増を考慮すれば、5年毎の見直しが必要と考える。

議員 町長の所見は。

町長 将来にわたり安心安全な水を供給するために、段階的な料金改定は避けて通れず、加えて一方では国が提唱している賢い縮小も必要と考える。

町民にもご理解をいただきたい。



久家（くが） いくこ 議員

空き家等管理活用支援法人を指定していない理由は

答 すでに必要な事業は民間事業者に委託している

空き家の活用

議員 現在、空き家等管理活用支援法人を指定せずに民間へ業務委託している理由は。

まちづくり課長 現在の委託形式でもマッチングや動画配信などの必要な業務を実施できており、事業者側からの申請予定もない。今後強化が必要になった場合、指定方針を策定する。

議員 危険空き家を除却し新築した場合、定住奨励金の加算などを設定できないか。

まちづくり課長 定住促進条例が令和10年までの時限措置となっている。令和11年度の制度見直し・期限延長に合わせて加算金も検討したい。

議員 関係人口となり得る空き家所有者なども見据え、ふるさと住民登録制度の参画計画は。

まちづくり課長 本制度に参画予定。イベントや体験機会の提供など具体的な運用方法を詰めており、移住定住促進や地域活性化につなげたい。

特定地域づくり事業協同組合制度

議員 移住・定住促進や仕事の創出（複数仕事の掛け持ち）につながる本制度の町の認識は。

商工観光課長 地域の担い手確保（商工業・農業・介護等）や移住・定住施策として有効な制度と認識している。民間事業者が主体になる必要があり、設立・検討する際には、商工観光課まで問い合わせしてほしい。

旧相撲場活用

議員 町民の学びや交流の場（歴史教室やイベント等）として活用を検討できるか。

文化財課長 過去の経緯から歴史的価値はあると認識している。町民やサークル等から申請があれば、開催に対応する考えはある。

議員 様々な事業で成果が出ているものの情報発信が不足。適切なタイミングでの広報を行ってほしい。

一般質問とは、議員が町政について自由に質問をすることをいいます。質問する項目は事前に通告します。時間内であれば納得がいくまで何度も質問できる「一問一答方式」を採用しています。



池田（いけだ） 榮次（えいじ） 議員

中学校の統合案「再考」発言は事実か

答 拙速に進めるより いったん立ち止まって再考する

町内中学校の統合

▽見直し発言は事実か

議員 中学校の統合にかかわる見直し発言が報道された。発言は事実か。

町長 事実だが、当初計画を完全に「白紙撤回する」趣旨のものではない。

町内各所を巡る中で、建設地への懸念を含めた切実な意見が想定以上で、町長として看過できないと判断した。現計画案を有力候補に残し、他の選択肢も含め検討したい。

▽教育委員会との協議

議員 この問題は教育委員会とも密接に関係する。教育長とも協議したのか。

町長 教育長と協議した発言ではない。町民の多くの切実な助言で、拙速に進めるより、いったん立ち止まって再考する判断をした。

▽一億一千万円が宙に

議員 本年度の当初予算に設計料等の一億一千万円が計上され、議会も議決した。町長の再考発言で一切がストップしている。測量や基本設計等の損害賠償が懸念される。

町長 統合計画は令和5年から「有田町立小中学校適正規模配置審議会」で議論が重ねられ、その答申や示された方針に基づくもの。少子化や施設の老朽化等から時間的余裕も厳しいことは認識している。町民から納得される最適な結果に向けて努力したい。



▽どう見直すのか

議員 町内4つの小学校の統合も控えている。どう見直すのか。

町長 これまでの計画や方針を大きく変更する場合は、新たな検討会などで専門的かつ客観的な視点で議論が必要だと考える。



浦川（うらかわ） 和彦（かずひこ） 議員

危険な空き家を増やさない対策は

答 新たな対策を検討したい

農業の担い手をどう守る

議員 農家の減少や高齢化が進む中、10年後の農地を誰が守るのか。地域計画策定後の課題と今後の取り組みは。

農林課長 農家戸数は減少し、60才以上の割合も増加している。後継者育成や集落営農組織の強化が課題であり、兼業農家への支援や若手農業者の育成を進めていく。

議員 地域計画は策定して終わりではない。地域や関係機関が継続して話し合い、若い世代へ技術や経験をつないでいく仕組みが必要ではないか。

町長 行政は、地域と国・県、農業者と関係機関をつなぐ「つなぎ役」として取り組む。

棚田に外部の力を

議員 棚田は景観、防災、観光など地域の財産でもある。地域だけでは担い手確保に限界があり、地域おこし協力隊など外部人材を活用できないか。

町長 棚田振興への地域おこし協力隊の活用は有意義。地域の課題を把握し、地域と共に活動する人材とのマッチングが重要である。



▲岳の棚田のキャンプの様子

管理困難な空き家対策

議員 危険度の高い空き家が増えている。危険になる前から対応が必要ではないか。

総務課長 遠方居住や相続問題などで管理されず、時間の経過とともに危険度が高まっている。

議員 所有者不明や相続問題には専門家とも連携すべきではないか。

町長 老朽危険空き家による住民の安全への影響を防ぐため、今後、議員提案のような新たな対策についても検討していく。

議会だよりに掲載している議員の一般質問の文責は各議員にあります。



原田（はらだ） 一宏（かずひろ） 議員

認知症高齢者の数は

答 令和7年度で約360人である

高齢者見守り支援

議員 認知症高齢者の増加に伴い、行方不明者対策も重要になってくるが、町の認知症高齢者数及び行方不明者数の推移は。

健康福祉課長 介護認定者の中で認知症の方の割合データで算出すると、令和7年度で360人程度になる。

	国	県	町
R2	ー	42611人	40人（R3）
R4	443.2万人	44715人	343人
R5	ー	45809人	374人
R6	ー	45817人	371人
R7	471.6万人	48262人	360人

▲認知症高齢者の推移（推定）
国：厚生労働省
県：「第9期さがゴールドプラン21」

行方不明者数については、公表されたデータはない。

議員 現在実施している対応策は。

健康福祉課長 「認知症サポーター養成講座」の随時開催や、専門員による家庭訪問、24時間体制の相談受付などを行っている。

議員 SOSネットワークやGPS機器、見守りシールなどの利用状況は。

健康福祉課長 導入はしていない。町は「徘徊高齢者家族支援システム設置助成事業」を案内しているが、ここ最近の助成実績はない。

議員 地域住民や事業所・警察との連携は。

健康福祉課長 民生委員さんには見守りの力になっていただいている。また、伊西地区介護支援専門員連絡協議会作成の「見守りネットワーク票」を利用して、ケアマネジャーと警察署の連携を平成28年から実施している。

議員 家族への支援体制は。

健康福祉課長 認知症地域支援推進員による認知症相談対応や、包括支援センターで、在宅での対応方法や医療やサービスへ繋がる支援を通して家族支援を行っている。

議員 今後の対応は。

健康福祉課長 「行方不明時の見守りネットワーク」を行政が主導し、引き続き認知症サポーターの養成や認知症推進員、民生委員による見守りの協力をお願いしていく。



諸隈（もろくま） 洋介（ようすけ） 議員

世帯数は変わらず人口減少への対応は

答 地域の実情に寄り添って対応する

人口減少対策は

議員 世帯数が変わらず人口だけ減少することへの対応は。

総務課長 人口減少や世帯構成の変化に伴い、役員のなり手不足、行事参加者の減少、共同作業の維持など、行政区運営に様々な課題が生じていると認識している。現時点では具体的な再編の検討には至っていないが、問題意識は共有している。住民の自主的な議論と合意形成を基本とし、相談があれば地域の実情に応じて対応する。

議員 消防団の団員減少や高齢化、伝統行事の担い手不足は、どのように対応するか。

総務課長 消防団組織再編計画に基づく格納庫の統合や積載車の更新を進め、団員の定年制撤廃などに加え、新入団員の確保に努めていきたい。

まちづくり課長 伝統行事等の担い手不足は、ふるさと住民登録、二地域居住などを活用し、町外からの参加者を増やす仕組みや、活動支援制度の見直しを図り、課題解決に向けた取り組みを進めていきたい。

議員 地域の持続性をどのように確保していくのか。町長の考えは。

町長 総区長会などで地域の意見を聞き、情報共有を進める。消防団の再編計画を着実に進め、伝統行事も側面的に支援する。住民や関係団体とともに、町ならではの持続可能な地域の将来像を描いて町政を進めていく。

議員 島根県雲南市などの小規模多機能自治やその近郊の先進事例を参考に、複数集落が連携して地域課題を解決する仕組みを作り、対応している。町でも進めてほしい。



▲地域の取り組み　雲南市公式PRページ参照

一般質問とは、議員が町政について自由に質問をすることをいいます。質問する項目は事前に通告します。時間内であれば納得がいくまで何度も質問できる「一問一答方式」を採用しています。



伊藤（いとう） 真理（まり） 議員

人口減少対策と住宅政策は

答 子育てと住宅支援を一体化し重点的に推進する

人口減少対策と住宅政策

議員　過去10年間の人口減少対策をどう検証し、今後の施策にどう反映させるのか。

まちづくり課長　第二期総合戦略に基づき、外部評価を含む検証を行っている。子育て世代や若者に焦点を絞り、切れ目のない支援や住まい、就業支援を重点的に推進する。

議員　子育て世代に選ばれる町にするため、情報発信をどう強化するのか。

まちづくり課長　制度単体の周知ではなく、住宅・子育て・生活環境を組み合わせ、実際に暮らすイメージを持てる発信を強化していく。若い世代はSNSなどで情報を集めるため、町のホームページや移住相談会などを活用し、ターゲットを明確にした発信を継続する。

議員　「有田っ子出産・子育て応援ニコッと給付金」を人口減少対策として位置付けるなら、移住者への周知を強化するべきではないか。

子育て支援課長　移住定住ガイドブックを作成し、移住相談会で配布している。また、町ホームページの「移住・定住応援サイト」や「有田町子育てサイト」のトップ画面で大きく案内している。今年度からは就学時健診で周知を行うなど、今後、様々な場面で制度のPRに努めていく。

議員　佐世保市をはじめ近隣自治体との広域連携を、移住、定住につなげる考えは。

町長　西九州させぼ広域都市圏の枠組みを活用し、移住ポータルサイトでの横断的な情報発信や、広域的な相談窓口の連携を行っている。今後も近隣市町と連携を深め、広域全体で移住希望者を呼び込みながら、その中で有田町が選ばれる理由を明確に打ち出していく。





手塚（てつか） 英樹（ひでき） 議員

有田駅舎内の観光案内所設置は

答 JR九州と協議したい

30代からの特定健診の取り組み

議員　人工透析は重要な課題となっており、近年の新規患者数は減少している。40才からの特定健診や重症化予防の取り組みを評価したい。そこで30代からの特定健診が早期生活改善で患者ゼロへ近づけるのでは。

健康福祉課長　30代からの健康診断は実施しているが令和7年の受診は30％にも至っていない。まずは受診率の向上に努めたい。

	国保	後期	合計
令和5年度	2	6	8
令和6年度	0	5	5
令和7年度	1	2	3

▲新規透析者数（人）

有田駅舎内に観光案内所設置を

議員　有田駅舎内に観光案内所が設置できれば、観光客への案内とJRチケットの購入で戸惑っている方への案内ができるのでは。

商工観光課長　以前JR九州と協議した際、システム機器のセキュリティ、駅舎内の管理区分、業務範囲、費用負担などの課題があった。観光協会との調整も必要で、今後設置についてJRと協議をしたい。



▲券売機

内山地区再開発の現状

議員　佐賀銀行有田支店跡地の進捗状況は。

まちづくり課長　有田内山札ノ辻周辺整備公民連携事業導入可能性調査は完了した。調査結果報告会を年内に開催する方向で進めている。

議員　歴まち再生ファンド事業の進捗状況は。

まちづくり課長　旧山口邸は今年度中にバックパッカー客用の宿泊施設として完成予定。旧鷹巣邸は改修工事着手中。宿泊、レストラン、物販等を行う施設になる予定。

　旧西日本銀行は活用業者を募集中である。

議会だよりに掲載している議員の一般質問の文責は各議員にあります。

一般質問とは、議員が町政について自由に質問をすることをいいます。質問する項目は事前に通告します。時間内であれば納得がいくまで何度も質問できる「一問一答方式」を採用しています。



久保田（くぼた） 豊（ゆたか） 議員

子どもの声を町政に反映する仕組みは

答 子どもたちの意見を聴いて今後の町政に活かしていく

子どもの声を町政に反映する仕組み

議員　少子化が進む中これからの町を担う子どもたちが、地域や町政について考え、自分たちの意見を表明する機会を設けることは、将来のまちづくりにつながる重要な取り組みであるが見解は。

教育長　子どもたちに直接意見を聴く機会はほとんど実施されておらず、生徒会などでの申し出を学校で聴き、取り組みながら教育委員会に報告して反映されたり、ＰＴＡやコミュニティスクールからの意見で把握している。

議員　子どもたちの意見を町の施策に反映し、フィードバックする仕組み作りは。

教育長　子どもたちの意見を聴くことは、必要に応じて行うべきだと思う。

施策の中で意見が必要となれば、子どもたちや対象者に「子ども会議」などの形で意見を聴取し、反映していく、そういう仕組みは確実につくるべきだと思う。

先日、南原原宿線の橋のネーミングを子どもたちに考えてもらった事例がある。先生方は「子どもたちは一生懸命考えていた」と言っていた。





町長　子どもたちがスポーツ等で九州大会や全国大会へ出場する際、役場に来ていただいたり、私が直接現場へ行ったりする場合がある。子どもたちと話す中で、「こういう施設が欲しい」などの意見を聴くこともある。そうした意見を今後の町の施策に活かせればと考える。



今泉（いまいずみ） 藤一郎（とういちろう） 議員

法律に基づく空き家対策は

答 法令に準じて対応していきたい

子育て支援の一環で

議員　諸物価高騰を受け、都会と地方では益々経済格差が生じていることの認識は。

町長　物価高騰等でなかなか給料も上がらない中、格差は広がっているのではと思う。子育て支援の充実に努めていきたい。

MR 松浦鉄道	有田駅～伊万里駅（13km）	1か月分	14,190円	
		3か月分	40,450円	
		6か月分	76,630円	
JR	有田駅～武雄温泉駅（14.5km）	1か月分	7,400円	MRと比較して約52%
		3か月分	21,100円	
		6か月分	39,980円	

▲高校生定期券の比較

議員　松浦鉄道を利用する高校生等の通学定期券購入費用を、ＪＲと同等の金額に近づけるよう補助できないか。

町長　松浦鉄道の事業や、今後の展開等も勘案し検討したい。

空き家の保存義務は

議員　どちらも老朽危険建築物である。写真①の左側の家屋は解体除却して更地になったが、土地活用は皆無に等しい。（写真②）

適切な管理・保全が行われないと、不適切な状態が続くことになるが町の所感は。

町長　地域の方に不便と迷惑がかかる事案も聞いている。職員も法令に準じ寄り添って、町の裁量でできる部分は、しっかり対応していきたい。



▲写真①



▲写真②



樋渡（ひわたし）　悟（さとる）議員

今後の産業振興の考えは

答　方向性を踏まえ、国や県に働きかける

町の防災計画は

議員　熊本地震では段ボールベッドの到着の遅れなどがあった。町の備蓄数、備蓄場所は。

総務課長　備蓄数は52台で、防災倉庫などに保管している。

議員　避難所開設後、何時間以内に設置する想定か。

総務課長　避難所の環境改善を早期に図るため、開設当初からマット、パーテーションとともに設置するよう務める。

議員　物資の偏在が起きた場合の調整は。

総務課長　他の地方公共団体と相互応援協定、民間事業者との協定を締結しており、必要に応じた物資の調達を依頼する。

議員　職員や庁舎なども被災した場合、誰が物資の把握をするのか。

総務課長　国が状況を把握してプッシュ型支援が実施される。ボランティアセンターなどと協力して対応する。

今後の産業振興

議員　過去の結果から現状と今後をどう見ているか。

商工観光課長　バブル期と比べて、販売額16％、商店数と従業員数で約30％まで落ち込んでいる。業界を取り巻く課題が多岐にわたる中、今後の業界、分業制はどうあるべきか、その方向性を考えていく必要がある。

農林課長　農業特産品開発協議会の発足後、アーサイ（子持ち高菜）の作付け、出店イベント等に取り組んできた。コロナ禍後途絶えていた食と農業まつりだが、今回、農業を中心とした秋祭りを開催するため補正予算も計上している。今後様々な業界団体と連携して盛り上げたい。

議員　観光協会やまちづくり公社との連携は。

商工観光課長　有田観光関係者会議を立ち上げ、協議を行っている。

議員　農家所得補償などの考えは。

町長　国や県に働きかけていきたい。

議会だよりに掲載している議員の一般質問の文責は各議員にあります。

議会用語トリセツ　（取扱説明書）

◇「公営企業・企業会計」とは？

公営企業とは、水道や下水道など、町民の暮らしに必要なサービスを「事業」として運営し、その収入と支出を明確に管理する仕組みである。

一般的な行政サービスは「一般会計」で管理するが、水道や下水道などは、水道料金や使用料などの収入がある。そのため、民間企業と同様に、収支や経営状況を明確に把握できる「企業会計」を採用している。

町には、水道事業・公共下水道事業・農業集落排水事業・浄化槽整備推進事業の４つの企業会計がある。

◇ なぜ「企業会計」にするのか？

① 経営状況を分かりやすくするため
② 利用する人に応分の負担を求めるため
③ 町全体の財政を守るため

つまり、町民の暮らしに必要なサービスを、将来にわたって安定的に提供し続けるための会計の仕組みである。

９月定例議会委員会審議

産業建設常任委員会

商工、環境、農林、土木建設、上・下水道、農業集落排水、浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

（委員会構成議員　５人）
委員長　手塚　英樹
副委員長　岩尾　匡

▼令和７年度有田町一般会計決算認定及び同特別会計決算認定

梶原委員　充電式電池の回収状況及び回収方法は。また、発火事例はあるか。


▲小型充電式乾電池

住民環境課長　令和７年度実績として乾電池７０４０kgのうち、約２割の１５００kgが充電式乾電池である。発火事例は保管中に１件あった。乾電池や充電式電池は窓口で受け取っている。発火寸前のものもある。早めに持ってきていただくよう周知していく。

久家委員　㈱ＡＢＣクッキングスタジオとの連携事業では、有田焼は業務用食器がメインだが、なぜ個人向けのプロモーションなのか。

商工観光課長　以前は業務用食器の企業間取引がメインであったが、現在は一般消費者との取引も増えている。若者のやきもの離れ傾向がある。見るだけでなく手に取って料理との組み合わせを知ってもらうための事業。８７００人に有田焼を使用してもらった。


▲▼㈱ABC クッキングスタジオ



梶原委員　区長会との意見交換会で、道路の環境維持について意見があった。現況は。

建設課長　町が管理する町道は延長が約２９０kmと長く、役場だけでなく、地域の方々の善意と協力により美化・安全性が保たれている。地域の自主的な活動を後ろ支えできるよう、今年度から自走式草刈り機などの備品貸出、除草剤や刈払機の替刃の支給を始めた。

▼令和８年度有田町定住促進住宅１号棟Ａ側階段室（10室）改修工事請負契約の締結

大井手委員　工事内容は。

建設課長　老朽化による天井、壁、床、衛生設備、給排水設備等の取り換え、また間取りも変える改修工事である。

▼令和８年度有田町一般会計補正予算（第３号）

岩尾委員　海外バイヤー招聘事業の内容説明を。

商工観光課長　日本貿易振興機構（ジェトロ）と海外バイヤーを招聘する事業である。９月18日に初級者向けの海外取引セミナー、11月19日に国内消費者商談会、年明けて５社の海外バイヤー商談会を実施予定。イギリスの老舗デパート、リバティー社も招聘する予定である。

文教厚生常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。

（委員会構成議員５人）
委員長　諸隈　洋介
副委員長　浦川　和彦

▼令和７年度有田町一般会計決算認定及び同特別会計決算認定

伊藤委員　児童福祉総務費のうち、負担金、補助金及び交付金について、不用額が１億２６２９万円とあるが、どのものか。

子育て支援課長　不用額が一番大きい事業は施設型給付費等事業で９２３０万円である。この事業は認定こども園への給付費であり、給付費に大きく影響する０歳から１歳児の途中入園児童数および公定価格の人件費相当分の上昇を予測して予算を計上している。給付費

は園の運営にかかわるため、予算不足とならないよう多く見込んだ結果である。

諸隈委員　民生委員活動事業の内容説明を。また、報酬等はこのままでいいのか。

健康福祉課長　民生委員は児童委員も含め59人である。月一回の民生委員協議会への出席、地域の福祉の担い手として活動していただいている。９月議会に民生委員活動費補助として一人当たり年額６千円増額の補正予算を計上している。

今泉委員　保育補助者雇上強化事業と保育体制強化事業は、国の予算不足により実績額が交付決定額を上回っている。なぜこのようなことが起こったのか。

子育て支援課長　年度途中に、県を通して国の予算不足の連絡があった。今後、こういったことがないよう、県から国に申し入れを行われている。町も県へ声を上げていく。

浦川委員　町が実施している４つの奨学金制度について、町外に進学した学生が、卒業後に町へ戻り就職定住する場合、奨学金の返還を一部免除するなど制度の見直しができるか。

学校教育課長　町長の所信表明で移住定住に結び付けていきたいという考えがあるので、まちづくり課や商工観光課も巻き込んだ協議を加速化していく必要があると考える。

副町長　単に学びの支援という意味合いだけではなく、町にまた戻ってきてくれるような形になればいいと考える。

▼令和８年度有田町一般会計補正予算（第３号）

中島委員　民生委員活動事業について、各市町に交付金がきたのか。

健康福祉課長　どの市町にも一人当たり年額３８００円の内示がきている。

伊藤委員　障害者福祉総務事業の生活のしづらさに関する調査員謝金の内容説明を。

健康福祉課長　国が実施する４年に一度の調査であり、その調査の調査員への謝金である。

総務常任委員会

総務に関すること、他の委員会に属しないこと、全般について審議します。

（委員会構成議員　５人）
委員長　原田　一宏
副委員長　久保田　豊

▼令和７年度有田町一般会計決算認定及び同特別会計決算認定

○歳入

原田委員　町税の収入が増えた要因は。

税務課長　町民税の収入が増えたことが一番大きい要因である。

○歳出　総務費

樋渡委員　アウトソーシングの強みと弱みは。

総務課長　強みは、正職員が政策的業務に注力でき、民間の持つノウハウ等を採用することで行政サービスの向上に繋ぐことができる。弱みは、委託先の職員に直接指示ができず、委託業者との調整が必要である。

樋渡委員　高齢者への消費者相談啓発活動の取り組みは。

住民環境課長　消費者月間や年金支給日に、スーパーや金融機関の店頭において、啓発チラシやグッズを配布し、被害の未然防止に努めた。９月の地区敬老会（２地区）でも「振り込め詐欺」啓発寸劇の予定である。

原田委員　移住支援金の反則規定は。

まちづくり課長　５年間の移住が条件だが、移住後３年以内に離有する場合は、支援金を全額返還、３年以上５年未満の場合は、２分の１を返還となっている。

○歳出　消防費

久保田委員　消防団員確保の対策は。

総務課長　団員確保のため、60才定年を撤廃し、希望する団員には残っていただくようにと考えている。

▼令和８年度有田町一般会計補正予算（第３号）

○歳出　総務費

樋渡委員　タウンプロモーション委託料の内容は。

総務課長　公式インスタグラム有田焼ファンクラブのフォロワー数も伸びているので、フォロワーの属性や目的等を調査し、今後の有田焼等の購買にどう繋げられるか検証していく。

原田委員　消火栓工事の予定はどこか。

総務課長　赤坂区を予定しており、増設を含め４基の工事を行う。

釧路町議会・有田町議会友好交流協定記念事業



釧路町議会と有田町議会は、積極的に情報交換を行い、両町の地域活性化に寄与することを目的として、昨年12月に「議会友好交流協定」を締結しました。

このたび、釧路町議会議員のみなさまが来町され、釧路町の豊かな海で育った特産品「さお前昆布」を各会場先着200人に無料配布されます。

みなさまぜひお越しください。

●日　　時　令和8年11月6日（金）14時00分～

●配布場所　役場町民ロビー、東出張所入口

議会の様子を見てみませんか？

有田町議会
HP はこちら

有田町議会
YouTube はこちら



有田の「若者・よそ者・○○者」

有田の若者や移住者、そして「○○者」と呼ばれるような個性あふれる方をご紹介するコーナーです。第2回は、日本工芸会員で京都から移住された方を紹介します。



石田（いしだ）　知史（さとし）さん

ガラス作家　石田　知史さん（京都府京都市出身）

両親が京都で「パート・ド・ヴェール」というガラス技法の作家をしていた影響で、私も高校卒業後、東京ガラス工芸研究所でガラスを学びました。

私の作品は、透明な吹きガラスとは異なり、柔らかな質感が特徴です。石膏型を使って成型する、古代メソポタミアに起源を持つ技法です。

有田への移住を考えたきっかけは、父の死でした。母も高齢になり、実家の工房を閉じて新しい場所を探すことになりました。京都は物価が高く、かといって関西の田舎は不便。なかなか決心できずにいました。

そんな時、4カ月ほど時間ができ、憧れていた開高健が描くアマゾン川へ行くことにしました。アマゾンでは、それまで悩んでいたことがほんの小さな事に思えて、「移住しよう」と決心したのです。

以前、有田で（公社）日本工芸会が行う今右衛門先生の若手作家向け研修に参加した経験もあり、とてもいいイメージを感じていました。有田はものづくりの産地であり、交通の便もよい、「歴史ある土地」でした。

百貨店のバイヤーの方が訪れる機会も多く、新規の展示会に繋がりました。

石膏型を使うという共通点もあり、有田に来てから3Dキャドを使って型を作ったりもしたんですよ。そんな新しい取り組みができる場所なので、将来、パート・ド・ヴェールの作家が有田に集まってくるのも面白いと思っています。

第60回西部伝統工芸展で熊本市賞を受賞された石田さん。新しい風が吹いています。

議会を傍聴して

議会はどなたも傍聴することができます。予約もいりませんのでお気軽にお越しくださいね。
そこで9月議会を傍聴された方に感想をお聞きしました。
皆様の傍聴もお待ちしています。

民生委員研修会として11人で議会を傍聴しました。初めてでしたが、ケーブルテレビでは分からない議場の緊張感や、議員と行政のやり取りを直接感じることができました。一方、一般質問では、これまでの発言の確認や国・県の制度説明が中心で、具体的に何をしていくのかが見えにくく、時間だけが過ぎているように感じました。

町の課題解決につながる、より具体的で活発な議論を期待します。（60代男性）

議員の方は議会の質問にあたり、町と町民の益を考えて壇上に立たれていると思いますが、傍聴者の私には質問者も答弁者も原稿の棒読み感が拭えず、できあがった台本の読みを聞かされているようでした。

日頃、町民のためにご尽力をいただいているはずなのに、それが私たち町民に届かないのはとても残念で仕方ありません。もっと活発な議会であってほしいと切に願います。

少し辛口でごめんなさい。大変でしょうが議員を頑張ってね。（60代女性）

地域の魅力発見：そこで暮らす人びと！　９区編

（原明・舞原・代々木区）

１．「原明区」の名称由来

江戸時代の天保10年頃までは「原焼」と記されていましたが、文化９年の伊能忠敬の測量日記には「原明」と記され、かつては「はいやけ」と呼ばれていたと考えられます。

「原焼」の由来には、本谷に窯があったことから名付けられたという説があります。当初は陶器が焼かれていましたが、磁器へと変わったといわれています。陶器や磁器の破片が出土した「原明窯跡」は、国指定の史跡です。

また、原明区には金山があったと伝えられ、「幕ノ頭（ まくんとう ）」には金を掘った跡とされる穴が残り、今も地元では「金山」と呼ばれています。

２．国際交流が盛んな「舞原区」

「舞原」の地名は、かつて舞妓さんがいたことに由来すると伝えられています。

今日、インドネシアを中心に、ミャンマー、ネパール出身の実習生や外国人労働者が暮らしています。地区では、スポーツ大会への参加や懇親会への招待など、国際交流が盛んで、互いに理解を深め、共に暮らす地域づくりが進められています。また、体育大会では、外国人住民の応援が非常に盛り上がり、テント前列に陣取るなど存在感が大きくなっています。



▲打ち上げも盛大に国際交流

３．「代々木区」の名称由来

１９６４年（昭和３９年）前々回の東京オリンピック開催時、東京の選手村が「代々木」にあったことにちなんで、この地区の新興住宅地を「代々木」と名付けられました。

当初は２５戸から１７戸が残り、宅地造成により新しく２８戸（平成元年以降）が「代々木」に新築移住されました。その中で５人の方が新たに消防団にも入団されています。

なぜ、代々木に移住したのか

◎土地の価格や敷地の広さも選択理由の一つ、勤務先（佐世保市）から近い通勤距離。
◎佐世保市、伊万里市、武雄市など各方面へのアクセスが良く、交通の利便性に優れています。また、すぐそばに歴史と文化の森公園があることも魅力です。

消防団加入のきっかけ

◎２人の団員の方から熱いお誘いを受けました。代々木区だけでなく、他の区の人や子どもの同世代の方とも知り合いが増え、地域に溶け込む良い機会を与えて頂きました。加入してよかったと思います。

あなたのご意見お聞かせください

前回のアンケートの結果

① 議会だよりはいかがでしたか。
- 大変良かった：33.3%
- まあまあ良かった：66.6%
- あまり良くなかった： 0％

② どのページに興味を持ちましたか。
- 議員の横顔、議会用トリセツ（解説はありがたい）
- 有田の若者、よそ者、〇〇者
- 議員のパーソナルな部分がわかる「議員の横顔」

③ 今後、取り上げてもらいたい話題。
- 議会日程。町民の声はどこに行けば伝えられるか。
- 議員のコラム、一つのカテゴリーについての議員談義など。

アンケートはこちら

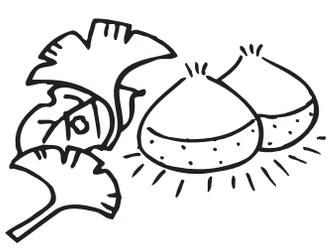
今後の議会だよりづくりに活かしていきたいと思いますので、ぜひアンケートへのご協力をお願いします。右上の二次元コードを読み取り、フォームへのご回答をお願いいたします。

有田町議会 HP はこちら

有田町議会 YouTube はこちら

■議長交際費支出状況（令和８年７月～９月）

項目	件数	支出額(円)	備　　考
会費	2	7,950	知事・市町議会議長懇話会会費ほか1件
雑費	1	40,000	有田町平和祈念式典供花代
合計	3	47,950	



あとがき

前回の議会だよりが発行されたと思ったら、もう今回の準備になりました。本当に「あっ」という間です。実はこの議会だより、議員が入力からレイアウトまですべてを行う、議員手作りの広報誌です。

私たちの思いや活動を少しでも町民の皆さんと共有したい。そのためには「読んでみたい」「少しでも面白い」と思っていただける広報誌にしていかなければならないと考えています。そのためにも、ぜひアンケートにご協力ください。皆さんの声がこの広報誌をより良いものに変えていきます。有田のまちも一緒により良くしていきましょう。

久家いくこ

議会広報発行特別委員会
委員長　浦川　和彦
副委員長　岩尾　匡
委員　伊藤　真理
委員　久家いくこ
委員　樋渡　悟
委員　大井手秀樹
委員　久保田　豊

総区長会と町議会との意見交換会

令和８年８月５日(水)、婦人の家にて意見交換会を開催した。たくさんの意見をいただき、大変有意義な意見交換会となった。



◇議員定数と報酬

Q. 人口に対する議員定数は多いのではないか。

A. 議員定数削減によって町民の代弁者が減り、民意の反映が希薄になるとの懸念もある。議論を重ねる。

Q. 新人議員や女性議員の誕生は議会の活性化につながる。今後も若い世代の活躍に期待したい。

Q. 若い世代の発想や情熱を町政に反映できるのであれば、議員報酬を引き上げてもよい。

A. 議員定数や報酬の在り方も含め、今後４年間で検討する。議員の後継者育成に向けた議論を深める。

◇産業・建設・地域活性化

Q. 企業誘致を推進し、若者の雇用の場の確保を。

A. 窯業や鉱業関係業界との意見交換を実施した。今後も幅広い業種との対話を進める。

◇教育・子育て・少子化対策

Q. 子育て・少子化対策は。

A. 国の小学校給食費無償化に加え、中学校給食費も町独自の事業として無償化された。町独自の「有田っ子出産・子育て応援ニコッと給付金」（出産時１０万円、小中高入学時５万円支給）、０才から高校生までの医療費自己負担分は現物給付が好評。

◇議会の見える化・広報の充実

Q. 議会だよりは読みやすくなったが、情報量をさらに絞り、簡潔にできないか。

A. 議会だよりの充実を図り、議会の見える化を推進する。令和９年度までに、広報公聴委員会の新設を目指す。

A. これまで、身体障害者福祉協会や老人クラブ等と年１回の意見交換会を実施してきた。議会基本条例を令和８年度内に制定し、幅広い分野の団体や個人との意見交換を目指す。

要望 町民に必要とされ、信頼される議員になってほしい。



総区長会会長
小野　究　様

以前から議員定数や議員の活動について、総区長の中で話題になったことがあり、議員さんと意見交換会の機会を作って頂いたことに感謝します。

１時間の予定でしたが、時間が足りないほど総区長側から質問や意見が出たことに驚かされました。それに対する議員さんの懇切丁寧な回答にチームワークの良さや人柄を感じました。

これからもいろいろな場で、議員さんの日頃の活動や人間性を伝えていってください。

発行／有田町議会　編集／議会広報発行特別委員会　〒八四九－四一九二　佐賀県西松浦郡有田町立部乙二二〇二　☎〇九五五－四六－二二一七(直通)　印刷／㈲山口印刷